

がんばってます！
まちのものづくり企業



職人の経験とカンが
技術を支えます

(株)太陽光機



治具(コイルをつくるための道具)



パソコンの光ピックアップ部

市内には、高い技術や特殊技能で「ものづくり」に励む地元企業があります。市内でがんばる元気な企業を紹介します。(隔月掲載)

日常生計で、コイルは私たちの目に触れることはありませんが、OA・AV・通信機器など、身近に使われている電化製品の中にたくさん使われています。光ピックアップのコイルに使われている電線は髪の毛の十分の一以下と細く、その電線を正確に巻く装置を作るためには、千分の一ミリ単位の高い技術と精度が求められます。

皆さんの家庭にあるCD・DVD・ブルーレイプレイヤー「光ピックアップ」という部品で、ディスクに記録されたデータを読み取り、電気信号に変えて映像や音声として再生しています。その「光ピックアップ」を世界の半数以上生産し、大手メーカーに供給している会社が太陽光機です。その他にも、自動車のスピードメーターやコンピュータ関連機器に使われているコイル製造やコイルを利用した部品の組み立てを主な業務としています。コイルとは、電線を円筒状に巻いたもので、電気を流すと磁力が起り金属などを動かすことができます。「光ピックアップ」には小さなコイルが6個入っていて、レンズの微細な動きを制御しています。太陽光機は昭和43年、市内松並に工場を開設。その後も成長を続け、昭和63年、現在地に行くつかの工場を集約して移転しました。

主な生産拠点は、インドネシア(約5,000人)と中国(約700人)で、ほとんどの製品を海外で生産していますが、メーカーから注文を受けたコイル部品の試作や、量産化に必要なオートメーションライン(自動製造装置)の設計・加工・組み立ては、全て大村工場でおこなっています。また、自動化できないものは、手作業で正確に作り上げる必要があるため、治具(効率的に組み立てるための道具)なども設計・製造し、海外の工場に送っています。



第二工場長 田崎 茂雄 氏

千分の一ミリを測る機械もありますが、高い精度と品質のためには、金属を削るときに手に伝わる感触や音など、『職人のカン』に頼るところが必要です。

(株)太陽光機大村工場
富の原2丁目760 ☎03-1118
従業員97人
本社 (株)太陽光機 東京都



社員さんからひとこと

佐藤祐輔さんは入社5年目。地元高校を卒業後入社しました。「難しかったことが出来るようになったとき達成感があります。先輩たちは優しくとても楽しいです。これからも頑張って仕事を覚えていきたいです」と話されました。

